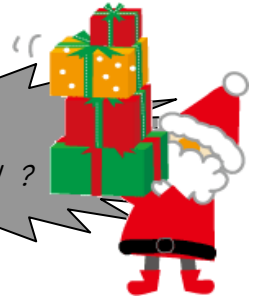




図書館のイチオシ

ほしいもの
ホントにくれるの!?



サンタクロース公式ブック《小学館》パラダイス山元/著・監修

クリスマスといえば、ケーキにプレゼント、そして何といってもサンタさん☆サンタさんは1人だと思っていたけれど、長老サンタの補佐役として世界で120名ほどの公認サンタクロースが活躍しているそうだ。この本は、日本でただ一人の公認サンタクロース・パラダイス山元さんが、クリスマスの正しい過ごし方を紹介している本だ☆公認サンタクロースになるには、結婚していることや体重120kg以上であることなどの条件をクリアした上で、過酷(?)な試験をパスする必要がある。その試験内容が何ともユニーク! 体力測定は煙突に入ったり、ジンジャークッキーを食べたり、タイムを競う。長老サンタクロースとの面接に、身だしなみ装備品のチェック。そして、宣誓文の朗読は、サンタクロースの世界共通語である“HOHOHO”で行う。すべての公認サンタクロースに認められるまで、延々“HOHOHO”。かなり大変そう…。公認サンタクロースのこと以外にも、クリスマスの料理レシピやリースの作り方、クリスマスにおすすめのDVDなど、盛り沢山な内容だ☆クリスマスが待ちきれない♪

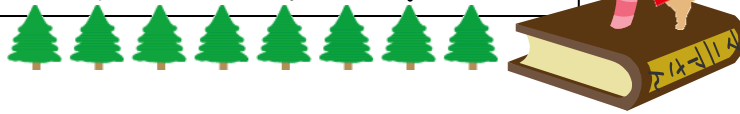


【386/サ】

技術・工業の「5」には
おいしい本が
いっぱい!



PAPAのイチオシ



俺の名はトニー。
干しイモの本?
ムズかしいな
(寒っ!)



フランス菓子図鑑—お菓子の名前と由来《世界文化社》大森由紀子/著

モンブラン、エクレア、マドレーヌ、フィナンシェ、サブレ、ラング・ド・シャ、トリュフ、スフレ、バヴァロワ、クグロフ、ダッコワーズ、クイニー・アマン、マカロン、タルト・タタン、カヌレ、などなど、あー、もう書ききれないほど盛り沢山の洋菓子! ほのかに甘い香りが漂ってきそうな美しい写真に添えて、お菓子たちの歴史・由来が語られています。エクレアは電光石火の意味(すばやく一口で食べられる、ナルホド)。フィナンシェは紙幣の形(英語で言うと「ファイナンス」ってこと)。ラング・ド・シャは直訳すると猫の舌(確かにそんな形だあ〜)。タルト・タタンは今もあるホテル・タタンのタタン姉妹が作った失敗作から生まれた…などなど楽しい蘊蓄やエピソードがいっぱい。また、シャーベットやマカロンは、イタリア・フィレンツェのメディチ家カトリーヌ・ド・メディシスがフランス王家に嫁いだことから広まった、な〜んで、お菓子のウラに隠された意外な歴史も垣間見ることができます。そうそう、この本、詳しい作り方は載っていません。パパのように、もっぱら食べる専門の人向けの本ですよ〜!



【本館ポピュラー H596.6/7】

サンタさん まってます♪





図書館のイチオシ

おいしいものが
いっぱい♪



写真でわかるかわいい は虫類・両生類の飼い方《誠文堂新光社》川添宣広/編著

みんなは家で何か飼ってる？犬や猫は一般的だけど、トカゲやヘビを飼ってみたいと思ったことはない??昔、お祭りの露店でカメを売ってるのを見かけたことがあるけど、成長したら家で飼えないなと思ってあきらめたことがあるんだよね…。この本はかわいい模様のヒョウモントカゲモドキや、かつて流行ったウーパールーパー（和名：メキシコサラマンダー）など、カメ・カエル・トカゲ・イモリ・ヘビと上手に暮らせる飼育方法を紹介してるよ☆フトサンショウウオのむふっとした顔が好き。

【H666.7/シ】

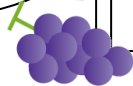


ハイスクール歌劇団男組《幻冬舎》米原弘樹/著

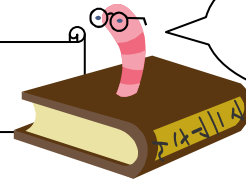


文化祭や学祭を秋にやる学校も多いよね☆何をやろうか迷ってるなら、みんなで宝塚やってみるのはどう？歌やダンスのきらびやかな舞台・宝塚を、落花は高校の修学旅行で見たけど、あまりの迫力にヅカファンの気持ち少しわかった気がしたよ。このお話の主人公・米原弘樹も宝塚に魅了された一人☆…というわけではなく、大学の推薦をもらうために学園祭で宝塚の舞台を行うハメになる。しかも男子高校生だけで。最初はイヤイヤやっていた弘樹だが、段々と宝塚の魅力にハマっていく。団員集めに厳しい練習、つらい現実について投げ出してしまいそうになる弘樹だが、他の団員たちの助けもあり、乗り越えていく。弘樹たちの初舞台は成功するのか!? 【B913.6/ヨネ】

いきもの
大好き「4」



PAPAのイチオシ



とーぜん
読書の秋!!



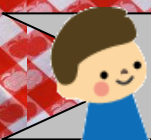
シロアリ女王様、その手がありませんか!《岩波書店》松浦健二/著

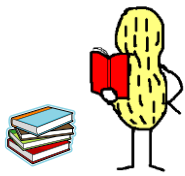
家にいてもらっては困る昆虫、いや害虫のシロアリ。シロアリ研究のために下宿のこたつでシロアリを飼育していたこともある!という筆者の長年に渡る丹念な観察の結果、見えてきたのは謎と驚きに満ちた生態。シロアリは女王中心のアリと違い、構成員もオス・メス両方有りの、いわば男女同権社会。一夫一婦制で、ニンフ（女王候補）とワーカー、兵アリからなるコロニーを作ります。しかし、大変なのは幼虫から成虫、つまり羽アリになり、出会いを求めて一斉に巣を飛び立つ恋の季節。ここでほとんどが鳥に捕食されてしまうので、死出の旅立ちと言ってもいいくらい。かと言って巣に引きこもっていると、ワーカーに攻撃されて一匹残らず殺されてしまうのだ!オイラ人間でよかったよ～。そして実は、シロアリはアリにあらず、遺伝子ではハチよりもむしろゴキブリに近い!アリが翅をなくしたハチならば、シロアリは社会性の発達したゴキブリってわけです。なんかコワイな～。また、シロアリが白く見えるのは、メラニン色素がないから（つまりスケルトン）。でも世界にはメラニンを持つ黒いシロアリもいるのだ。ややこしいYO!そんなこんなで、シロアリの世界はかなりのワンダーワールド。実物はちょっと…という人も、キュートなイラストには癒される…かもね。

【本館レファレンス 486.3/シ】



どんな秋がスキ??





図書館のイチオシ

今年の夏は
浴衣着てみようかな。



すごい空の見つけかた 《草思社》武田康男/写真・文

ふと空を見上げたとき、変わった雲があるなって思ったことない？雨上がりの空に虹をみつけて得した気分になったり、夜真っ赤な満月に驚いたり。空ってあんまり気にすることがないけど、見上げてみると季節や天候、時間帯によっていろんな表情が見られるらしい。この本ではなかなか見られないすごい空の写真と、なぜその現象が起こるかや、どうすれば見られるのかということも解説しているので、海とか山に友達と見に行くのもいいかも☆自分で空の写真を撮ってみるっていうのもおもしろそう。空を撮るとき何に気をつけたらいいかも載ってるから、撮ってみたくなったら参考にしなね♪



【451/ス】

お任せ！数学屋さん 《ポプラ社》向井湘吾/著



楽しい夏休み！だけど、宿題っていう楽しくないものもあるよね…苦手な教科があればなおさら憂鬱。。中学2年生の^{あまのはるか}天野遥は数学が大嫌い。テストは毎回追試、数学のことを考えるのさえおぞましい。ある日、遥のクラスに転校生がやってきた。転校生の名前は^{じんのうちそら}神之内宙☆宙は転校初日、「特技は数学。将来の夢は、数学で世界を救うこと」と、トンデモあいさつをかます。そして、“数学屋”などという得体の知れないお店(?)を始めた。悩みを数学の力で解決するというものらしいのだが…？遥は宙のマイペースっぷりに振り回されながらも、少しずつ数学の奥深さを知っていく。「数学って何のために勉強してるんだらう？」とか「こんなの役に立つのかな？」とか思うてしまう数学を、遥と一緒に勉強しているような気持ちになってくる。この機会に苦手な数学を克服しちゃおう！？

【F913.6/ムカ】

世の中いろいろ
「3」で探ろう！

PAPAのイチオシ

浴衣で登校
いいかも…って
夏休みじゃん



英国一家、日本を食べる 《巫紀書房》マイケル・ブース/著、寺西のぶ子/訳

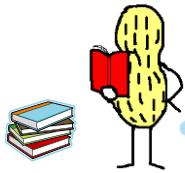
一緒に料理学校で学んだ日本人青年トシから渡された辻静雄（日本料理研究の大家）の本を手し、イギリス人フードジャーナリストが奥さんとわんぱくざかりの息子2人を引き連れ、3か月に渡り、北から南まで日本各地を食べ歩いた体験記。東京デパ地下のすさまじい食品群（1個21,000円の夕張メロン！）、鉄道ガード下の薄汚れた居酒屋の絶品焼き鳥、最後の一滴も残さず啜ってしまう北海道の味噌バターコーンラーメン、あらゆる手を尽くして味わうカニ料理、京都の軟水を活かして作られる豆腐や日本酒、大阪のファーストフードたこ焼きに串カツ、福岡の豚骨ラーメン、沖縄の紅芋、などB級グルメの数々。かと思えば、一見さんお断りの究極の懐石料理を味わうVIP体験も！著者の語り口から、日本食の奥深さ、ユニークさが伝わってきます。食の背景となる歴史や文化も取材し、鯨肉は今一つ口に合わなかったこととか、子どもたちが日本食よりポケモングッズに夢中だったりしていたことなど、包み隠さず伝えようとする姿勢が最後まで貫かれていて、面白おかしい食い倒れ記や一方的な日本食礼賛に終わらない、共感できる読み物です。著者の生き活きた（ときどき間抜けな）、楽しい道中が目の前に浮かんできそうな翻訳も素晴らしい！

【本館レファレンス 383.8/エ】



浴衣を着て花火大会に行こっ♪





図書館のイチオシ

だれか迎えに
来てくれないかな??



クラT大図鑑《主婦の友社》

体育祭や文化祭、部活などなど、クラスやクラブの仲間と一致団結して取り組むことってあるよね☆そんなときには、おそろいのTシャツ“クラT”を作ってみるのはどう??この本では全国300以上のクラスから集まった自慢のクラTを紹介しているよ。いろいろな工夫を凝らしたクラTは見るだけでも楽しく、自分たちだったらどんなデザインにするか話し合うのも楽しそう☆個性あふれるオリジナルのクラTは、団結力を高めるだけでなく、思い出に残ること間違いなし!みんなもクラTを作ってみよう♪

【H589.2/ク】



パントロジスト 上-三枝ジョーの不思議事件ファイル- 下-三枝ジョーの終わりなき探究-

(メディアワークス文庫) 《アスキー・メディアワークス》 樹のえる/著

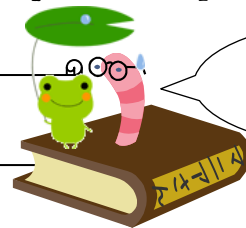


タイトル『パントロジスト』とは、“総合知識研究者”という意味☆タイトルから、難しそうに思えるかもしれないけど、超常現象や心霊現象を解き明かす短い話がいろいろ載ってて、読みやすいよ!主人公は女子高生のなつみ。両親がアメリカに行ってしまい、突然叔父のジョー兄ちゃんのところへ生活することになってしまった。ジョー兄ちゃん家を訪ねると、玄関には“超常現象、心霊現象、何でもご相談ください パントロジスト”のアヤシイ張り紙が…。張り紙のとおり、ジョー兄ちゃんのところには不思議な依頼が舞い込むし、なぜかソフィーと名乗る超キレーな謎の女性も一緒に暮らしているし、本当に居候していいの不安になるなつみ。そして、ジョー兄ちゃんとソフィーの関係も徐々に明らかに…。

【B913.6/イツ】

旅してわかる、
地理・歴史の「2」

PAPAのイチオシ



葉っぱの傘で
いっしょに帰ろう!

四次元温泉日記《筑摩書房》宮田珠己/著

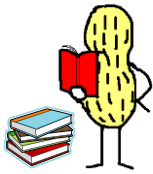
ぐーたら中年にして旅の達人・宮田さん(通称タマキング)が、本人と同じよーなおっさん2人とともに、日本各地の謎めいた温泉をあちこちめぐる旅日記である。いや温泉というより、次々に登場する迷路のような造りの旅館の描写に圧倒されっぱなしである。建築基準法、どうやってクリアしてるんだ?と一応公務員のパパとしては心配してしまいそうな、つぎはぎだらけで錯綜した建物。森の藪まで伸びていて、その先がどこに通じるかわからない渡り廊下。廊下から湯船が丸見えの混浴風呂…などなど。宮田さんがこれまで訪れては報告してきたアジアのあやしい観光地並みにワンダーランドな世界が、日本にもまだまだあったのだ。すごいぞ日本!というわけで、ノーマルな旅行の役にはほとんど立たないばかりか、各温泉の効能にもほとんど触れずじまいという徹底ぶりは、驚きや疑問を通り越してほとんど感動的である。実際この本を読んでいちばん行きたくなったのは、青森のお祭り“ねぶた”であった…。いやいや失礼、効能は確かに書かれてあった。有名な大分県別府のとある温泉、店番のおばちゃんいわく、「うちの温泉は原爆にも効くよ」って、……えええっ!!!?

【ポピュラー G291.0/ヨ】

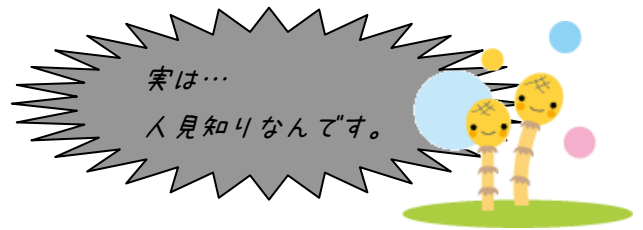


図書館でまってるね!





図書館のイチオシ



ことばの力 3 ぐっとくる映画のセリフ101 《鈴木出版》あさのあつこ/監修

作家あさのあつこが、ぐっとくる映画のセリフを紹介。「恋で輝く!!」「試練とたたかえ!!」「人生を豊かに!!」「希望を持とう!!」と、テーマごとに作品案内とセリフが載っているよ。知ってる映画もあれば、知らない映画もあると思うけど、知ってる映画でもこんなセリフがあったなんてと、もう一度観たくなっちゃうかも☆セリフだけでもぐっとくるけど、映画を観るともっとぐっとくる。同シリーズ、「ぐっとくるまんがのセリフ101」と「ぐっとくる文学のセリフ101」もあるよ☆

【159/コ/3】



サクラ咲く《光文社》辻村深月/著



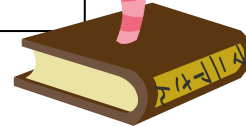
春、新しいことを始めるにはいい季節だよね♪このお話の主人公・マチは本が大好きな女の子☆中学入学を機に、引っ込み思案で自分の意見を言えない性格を変えたいと思っていた。なかなか思うようにならない日々締めそうになるマチだが、ある日図書館で借りた本の中に手紙が入っているのを見つける。そこに書かれていたのは「サクラチル」の文字。その後も何度か図書館の本から手紙を見つけ、マチは勇気を出して手紙を書くことに。そうして始まった奇妙な文通、果たして手紙の主は誰なのか? 「サクラチル」の意味は?? マチの真っ直ぐながんばりが気持ちいい☆

【F913.6/ツシ】

哲学の「1」は
意外と
ワンダーランド

PAPAのイチオシ

ギザギザ吹出しに
「人見知り」と
書かれてもなま...



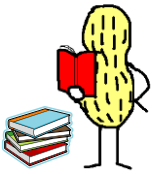
大阪の神さん仏さん《140B》釈徹宗/著、高島幸次/著

宗教をめぐる仏教者と歴史学者の対談、というとすごーく堅苦しそうなイメージですが、タイトルの「神さん仏さん」(決して「神様仏様」じゃないからね。あと、関西なまりで発音すべし!) のとおり、まったくそんなことはなく、宮崎アニメやアップル社など、あまり宗教と関係なさそうな話題が次から次へと出てきます。そんな脱線を繰り返しながら、私たちの身近にある神社やお寺、地域のお祭りや年中行事などから、日本人の生活に溶け込んでいる宗教性や信仰のありようを、大阪といういろんな意味でユニークな土地柄から探ってみようという、対談式の思考実験記録です。普段何気なく感じていたけれど、「ああそういうことだったのか!」と納得する場面もたくさん。よく日本人は宗教に疎い民族であるかのようにいわれます。キリスト教やイスラム教など、唯一の神様を崇拝して日々礼拝に出向くことが信仰の証だという感覚で考えれば、確かにそうかもしれないけど、信仰ってそれだけじゃないよね? 神社のお祭りにしろ、お盆のお墓参りにしろ、さらにはパワースポット巡りだって、根本には何らかの宗教性・信仰があるわけで、そう考えていけばこんなにバラエティ豊かな宗教的イベントやスポットがある国も珍しいのでは? お二人の関西人らしい、場を楽しませる話しぶりも好感度バツグン!

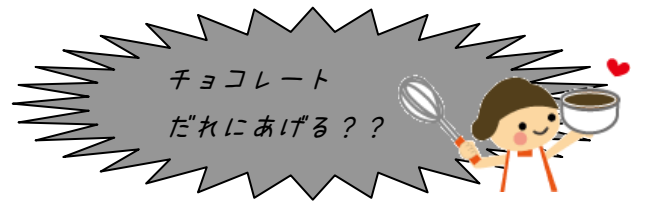
【本館レファレンス 162.1/オ】



よろしくね!!



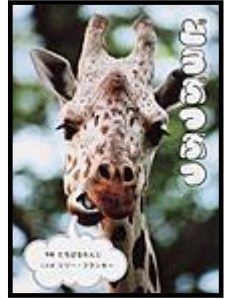
図書館のイチオシ



どうぶつぶつ《パルコエンタテインメント事業部》たちばなれんじ/写真、リリー・フランキー/ことば

ジャイアントパンダが「あんた…、悪い人間の、眼してるね…。」、ロバが「お嬢様の目は、節穴でございますか？」かわいい動物の写真にアテレコしたらこんなことを言っているのではというのを形にしたのがこの本☆中にはどういう設定？とツッコミたくなるものもたくさんあるけれど、本当にそう言っているように見えるから不思議☆どこから読んでもOK！他の動物の写真を見て、つついアテレコしたくなっちゃうかも。個人的にはワラビーとガラパゴスゾウガメのことばがツボ☆

【748/ト】



恋日和《PHPエディターズ・グループ》水内喜久雄/編



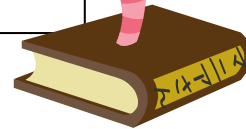
もうすぐバレンタインデー☆こんな季節に“恋の詩”を読んでみるのはどう??詩なんて…と思うコもこんな本だったら読みやすいかも。江國香織や秋元康などの著名人の詩や、ミスチルやコブクロの歌の歌詞も載っている、何だかおトクな一冊☆何気なく聴いていた歌の歌詞をじっくり読んでみるとこんな歌詞だったんだーと歌を聴くのとはまた違ったように感じるかも。すんと心に落ちる詩が見つかるといいな。「休止符」「おなじこと」「ココ」にキュンとしました。

【911.5/コイ】

今回は
ゼロ(総記)の本

PAPAのイチオシ

イチゴ味
熱烈歓迎!!



世界の夢の本屋さん《エクスタレッジ》

ロンドン、パリ、アムステルダム、ブリュッセル、ローマ、そしてニューヨーク…これをガイドに、世界の夢の本屋さんツアーに出かけたくなる一冊。登場するのは、好きな本を手にここで一日中過ごしてみたい!と思わせるお店ばかり。オーナーの鑑識眼で厳しくセレクトされた品揃えが経営の基盤となっていることは全てのお店に共通していますが、一方で、開放性とこだわりをほどよくブレンドしたインテリアや、遊び心を加えながら本を“魅せる”数々の工夫が楽しい!歴史的建造物の教会が書店でその中の祭壇をカフェにしたり、レストランと完全同居したり、ワインバーを完備したり…と、本だけでない楽しみを取り込んで地域に溶け込もうとする真摯な姿勢が、オーナーや店員さんたちのコメントから伝わってきます。

その中でもパパの注目度ナンバーワンは、アムステルダムの「メンド」、別名「ブラック・ブックショップ」。店員はみなブラックスーツを着た若き男性デザイナーたち。インテリアはほぼ黒一色、照明には特にこだわり本を美しく見せ、さらには表紙も中身も黒一色の「メンド・ブック」をわざわざ特注して、棚の隙間調整や家具代わりに使うという徹底ぶり。なんだか、そのうちマンガに出てきそうなシチュエーションじゃありませんか!?

【本館レファレンス 024/セ】



今年は作ってみようかな♪

